

対象国農業分野における開発ニーズ(課題)

- ・ウキクサ(Wolffia)の生産性は低く、主要な技術的課題により品質が不安定。
- ・ローカルの生産プロセスがグローバルなバリューチェーンの要求に対応できていない。
- ・タイ国東北部農村は低所得で、雇用機会に限られる。

提案製品・技術

- ・ウキクサを乾燥・粉末化した高栄養の食品原料。
- ・微生物活用栽培技術により、藻類混入を抑制し、生産性を向上させる。
- ・品質等級判定、乾燥・粉末化、品質調整により安定供給を実現。

調査概要

- ・調査期間: 2026年5月～2027年5月
- ・対象国・地域: タイ国ナコンラチャシマ県、バンコク、チェンライ
- ・調査概要: タイ東北部におけるウキクサの生産・集荷・加工体制、品質管理水準、関係法規制・輸出要件、ならびに日本の食品メーカーの品質・価格・供給条件に関するニーズを検証したうえで、現地の課題解決と事業化に向けた調査を行う。本調査後に、タイの契約農家・ハブ法人・加工事業者を活用したウキクサ粉末原料の安定供給体制を構築し、日本向け輸出を実現することを目的としたビジネス展開を図る。



ウキクサ粉末

ビジネスモデル

- ・Floatmealが契約農家に栽培技術、品質基準、標準作業手順を提供。
- ・ハブ法人が集荷・記録・一次判定、加工事業者が乾燥・粉末化を担う。
- ・Floatmealが等級別に買い取り、日本の食品メーカーへ輸出販売する。

対象国に対し見込まれる成果(開発インパクト)

- ・生産性向上とコスト低減により、地域の輸出競争力を強化。
- ・等級別安定買付と現地加工により、農家所得向上と付加価値の地域還元を実現。
- ・ハブ法人および農家の収益機会創出、女性・高齢者の雇用拡大に寄与。